

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	CieloKids滝野		
○保護者評価実施期間	2025/11/10 ～ 2025/11/30		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2025/11/15 ～ 2025/11/30		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5 (回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026/1/15		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	アンケートにおいて、ほぼ全ての保護者様から「安心して楽しみに通所できている」との高評価をいただき、家庭や学校に次ぐ「第三の居場所」として多くの子供たちに認識されていることを実感しております。	「否定しない支援」を徹底し、子供の意思を尊重する関わりを全職員が意識していることに加え、併設する就労継続支援B型事業所との日常的な交流が非常に良い効果をもたらしています。事業所間で密に連携し、多様な大人と関われる環境が確保されていることも、心理的な安全基地として機能する大きな要因と考えています。	今後も子供たちが心からリラックスできる環境作りに努めるとともに、この「居場所」としての機能を維持・発展させ、情緒の安定を支え続けます。
2	日々の活動をあえて固定化せず、利用児童それぞれの体調や気分の変化に応じて、柔軟にプログラムを調整できる体制が高く評価されています。マニュアル一辺倒ではない、個々に寄り添った対応ができる点が強みです。	職員の適切なサポートのもと、子供たちが「自分で何をするか考え、決める」プロセスを大切にしています。この自己決定の繰り返しにより、判断力を養い、小さな成功体験を積み重ねることで、「できた！」という自信を育む支援を徹底しています。	得意なことをさらに伸ばしつつ、日々の関わりの中で「あいさつ」や「お礼」、「笑顔」といった基本的な社会性が自然と身につくようサポートを行います。これらを通じて、子供たちの可能性と活動の幅をさらに広げていきます。
3	職員間の情報共有が徹底されており、特定の担当者だけでなく、「チーム全体」で子供たちの成長や微細な変化を把握・支援できる体制が確立されています。誰が対応してもブレない支援ができる点が強みです。	日々のミーティングで、子供の様子や変化について話し合う場を必ず設け、支援方針に対する「共通認識」を徹底しています。スタッフ全員が同じ視点を持って関わることで、子供たちが迷うことなく安心して過ごせる環境を生み出しています。	今後はこの強固なチームワークを活かし、事業所内だけでなく、家庭での困りごとや悩みにもより深く寄り添えるよう、保護者様との連携・相談支援体制をさらに強化・発展させていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあり、トイレも男女別で階が分かれているため、移動のたびに職員の付き添いが必要です。この構造上の理由により、移動時やケアの際に見守りの人員が一時的に分散されやすい点が課題です。	ハード面の安全対策は完了しています。一方で、支援時間内に並行して行う業務や、移動に伴うオペレーションにおいて、人員配置自体は基準以上に確保しているものの、そのリソースを最大限に活かしていない場面が課題として残っています。	構造上のハンデをカバーするため、ICTツールの活用や業務フローの見直しを順次進めています。職員の事務負担を軽減することで、子供たちから目を離さず、これまで以上に手厚い見守りと支援に専念できる環境づくりに取り組みます。
2	【「静」と「動」の活動の混在】 同じフロア内で、宿題などの「静かな活動」と、遊びなどの「活発な活動」が同時に行われることがあり、子供たちが集中しにくい場面や、気持ちの切り替えが難しい場面がある点が課題です。	【空間活用の課題】 利用者ごとに来所時間が異なり、一斉学習の時間が取りにくいことに加え、併設している「個別の学習スペース（勉強部屋）」が、心理的な距離感や動線の問題から十分に活用されきっていない現状があります。子供の自主性を尊重するあまり、環境設定による誘導が弱くなっていた面も要因と分析しています。	【ゾーニングの徹底と学習室の再定義】 メインフロア内では棚や仕切りを活用して視覚的な刺激を調整します。加えて、既存の「学習スペース（勉強部屋）」の運用ルールを見直し、集中したい子が気兼ねなく移動できる雰囲気づくりや、職員の配置を工夫することで、メリハリのある環境を提供します。
3	事業所内の支援は充実していますが、ご家族等の交流イベントや地域の社会資源（公共施設や他事業所）との連携について、活動機会がまだ少ないという現状があります。	これまでは、事業所内での支援体制の構築や、感染症対策を含む安全確保を最優先としてきました。そのため、地域交流や外部研修への参加といった「外向きの活動」に割くリソースが不足していました。	今後は、家族参加イベントの企画や、更に地域のイベントの参加や、外部講師を招いた研修などを積極的に計画します。事業所の中だけでなく、地域社会全体で子供たちを支えるネットワーク作りを推進します。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	CieloKids滝野
------	-------------

公表日 2026/2/1

利用児童数 18

回収数 17

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	0		引き続きひとりひとりの特性に合わせた対応ができるよう、限られたスペースの中で創意工夫を行う。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	0	0	4	曜日ごとの児童人数と職員の配置が分からない為、運営上の配置では難しい場合も有るとしています。	引き続き常時職員配置に遵守し、活動内容や状況に合わせ、併設する就労支援B型事業所Cieloの職員と協力して支援を行う。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1	0	4		事業所が2階にある根本的な課題。手すり、車椅子用トイレの設置などは完了しているが、二階を踏まえ更にバリアフリー化できるよう努力する。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1	0	2		清潔な状態を保てるよう今後も常に努力を続けると共に、快適な活動空間の確保についても、現状に満足せず常に改善を意識して業務に当たる。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	12	1	0	4		保護者と情報共有しながら引き続きひとりひとりの特性に合わせた支援を行っていく。専門性を高めるために研修受講の促進していく。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	3		提供する支援内容を日々見直しながら生じないようにしていく。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	0	0	1		きめ細かい面談によるアセスメント、利用児童、保護者からのニーズ聞き取りなどを行い、計画会議を経て最適な支援が提供できる仕組み作り及びその実践を今後も続けていく。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0		今後も引き続ききめ細かい面談により必要な支援を導き出し、具体的な支援内容を設定する。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1	送迎時にお伝え頂く事もありますが、連絡帳から読み解くのは難しいです。	今後も引き続き計画に沿って適切な支援が行えるよう努力をしていくと共に、活動内容によりどのような変化、成長が見られたか明確にし、活動の意図をご家族にご理解していただくよう努める。必要に応じて電話連絡も行う。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	0	0	4	長期の休暇やイベントは、色々な経験をさせて頂いていてありがたいと思います。日々の活動については、わかりませんし、本人が受け入れない場合も有ると思うので。	状況の変化により速やかな変更等ができるよう固定化されないよう体制を整えていく。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	1	0	10		来年度から長期休暇を利用して地域の子どもと交流する場を企画を検討している。
保護者 への 説明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0		契約時、個別支援計画作成時等、適宜丁寧な説明を心掛けています。分かりやすく、丁寧な説明であったと感じてもらえるよう努力を続ける。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0		今後も計画を示しながら支援内容を丁寧に説明していく。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	1	1	6		保護者に対する支援を充実させる為、今後様々な支援内容を検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	15	2	0	0		連絡ノート、事業所専用SNSを活用し、日々タイムリーに状況の共有ができる体制を構築しており、今後も引き続き進めていく。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	1	0	0		個別支援計画作成時、その他必要に応じて面談を行っている。育児その他に関する相談のしやすい環境を更に整えていく。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	1	0	0	共感的な支援とは？	保護者と情報共有しながら引き続きひとりひとりの特性や状況を理解し寄り添う姿勢で支援を行っていく。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5	4	2	6		来年度は、夏休み中に保護者同士、きょうだい同士の交流の場を持つ企画を計画している。継続的に交流の機会が設けられるように努める。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	0		今後さらに相談しやすい体制づくりを進めると共に、必要な助言、適切な助言ができるよう技術、技能、知識の研鑽を積んでいく。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1	0	1		連絡ノートや必要であれば電話にて状況の共有ができる体制を構築しており、今後も引き続き進めていく。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	1		SNSにより定期的な活動報告を行っている。今後も引き続きタイムリーな情報提供を行う。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0		法令に則り取扱いには十分注意する共に、定期的な研修も行っており、今後も続けていくものとする。

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	6	すべて策定済であるが、保護者への周知は徹底されていない。今後、SNSやお便りによる周知を図っていく。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	0	0	8	年2回以上の訓練が行われているが、本結果より保護者への報告等、周知が徹底されていないように見受けられる。今後SNSによる情報公開だけでなくお便りによる共有も検討していくものとする。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14	0	0	3	今後も安全確保適正な体制を維持していく。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	1	0	1	発生後、速やかに職員間で状況整理を行い、保護者に説明を行っている。今後も事故の原因を分析し再発防止策を講じ、安全の向上をはかる。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	更に安心感を高める為、サービス向上、個々の職員の質向上に努力する。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	1	更に満足度を高める為、サービス向上、個々の職員の質向上に努力する。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	更に満足度を高める為、サービス向上、個々の職員の質向上に努力する。